

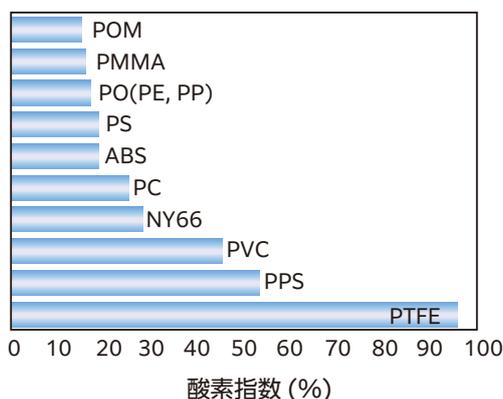
# 酸素指数試験

プラスチックが燃焼を続けるために必要な最低の酸素濃度を測定する。酸素指数は、材料の燃えやすさの比較のみならず、消防法で規定される倉庫保管量の制限調査のために利用される。

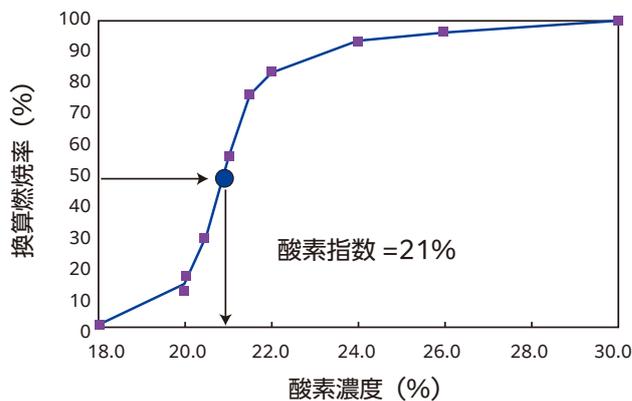
## ▶ 試験法

試験法	JIS(従来法)	ISO法(新JIS法)	消防法施行令記載法
測定原理			
試験装置	酸素指数燃焼性試験器 ON-2M(スガ試験機製)		
試験条件	20±5℃	23±2℃	20±5℃、65±20%
試験片形状	シート 6.5×(70～150)×3mmt フィルム 20×150×1mmt以下	シート 10×(80～150)×4mmt フィルム 20×(140～200)×0.5mmt	粉体、粘潤体 必要量 20～50g
試験数	n=3 計 10 本	n=3 計 15 本	n=10～20
関連規格	JIS K7201:1995 ASTM D2863	JIS K7201:1999 (ISO4589-2:1996)	消防法第 184 号 (別記 1)

## ▶ 測定例



各種樹脂の酸素指数



消防法施行令 測定例

